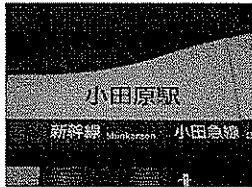


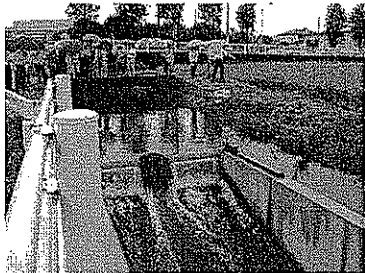


水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成 19 年 9 月 12 日に開催した「現地学習会」の内容は次のとおりでした。

名 称	現地学習会(1)
開催日時	平成 19 年 9 月 12 日 (水) 9:00~16:30
視察場所	小田原市、秦野市、県立自然環境保全センター
出席者	木平勇吉、片山幸男、倉橋満知子、増田清美、天内康夫、牧島信一、 真覚邦彦、吉村妙子、高橋二三代、長谷川朝恵、柳川三郎 計 11 名
内 容	<p>1 9:00 JR 小田原駅集合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>2 9:30~10:10 河川等の自然浄化対策の取組についての現地視察 <小田原市鬼柳桑原排水路> ・ 説明者：小田原市職員</p> <p>【主な意見】</p> <p>○多自然型の整備と言いつつ、完成してみるとコンクリートの構造物になっていることがあるので、そのようなことのないようにしてほしい。</p> <p>○小田原メダカを守ろうとしている地元地域の人たちとも協力関係が出来ており、将来的に良好な保全状態が望まれると思う。 酒匂川の合流地点までどういう形で保全できるかが今後の課題だと思う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

3 11:10~11:40 地下水対策の取組についての現地視察

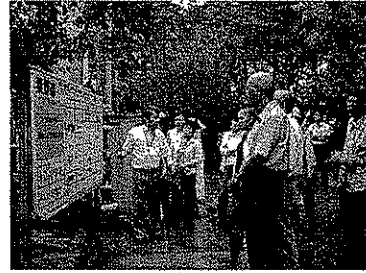
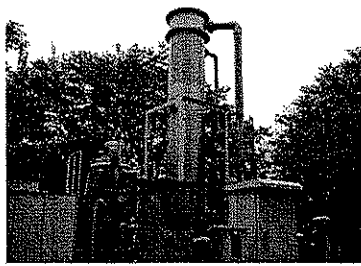
<秦野市菩提>

- ・ 説明者：秦野市職員

【主な質問】

Q 秦野の地下水脈の位置等はどの程度把握されているのか。

A 調査研究が行き届いているため、正確に把握されており、汚染のあった場合の影響等をきちんと把握することができる。



4 13:30~16:00 丹沢大山保全・再生の取組について

<自然環境保全センター>

- ・ 説明者：自然環境保全センター職員

【主な質問、意見】

Q 土壌流出対策の実施箇所として、国有林部分は手が出せないと説明されていたが、本当か。

A 水源環境保全・再生施策では、対象となっていない。丹沢大山自然再生委員会には国有林を管理している東京神奈川森林管理署にすでに参加いただいております。また庁内の丹沢大山自然再生の作業部会にもオブザーバーとして参加してもらっており、連携して取り組んでいく。

Q ブナの立ち枯れに関して、八甲田山では、ブナシャチホコの発生も複合的な要因と言われている。ブナシャチホコは、大気汚染が影響していくようだが、丹沢はどうか。

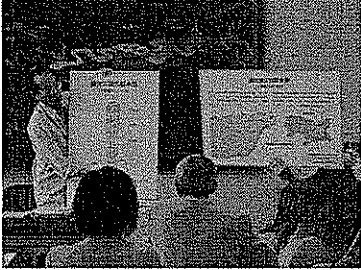

A 丹沢大山では、ブナ林の複合的な衰退原因の一つとして、ブナハバチが挙げられている。これまでの調査でブナは、ブナハバチの大発生による被害を繰り返し受けると枯れることがあると判明しており、現在、他の機関と連携して対策を検討している。

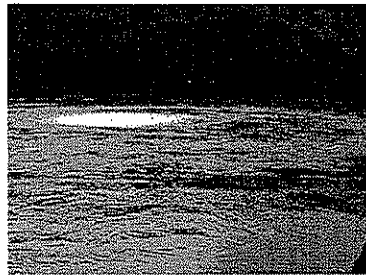
- 県民が期待しているのは、新たな税を投入したことで、ブナ林が再生しつつあるという姿が見えることだと思うが、自然環境保全センターの人員体制は少ないようなので、もっと人も特化して集中してやるべき。



水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成 19 年 10 月 11 日に開催した「現地学習会」の内容は次のとおりでした。

名 称	現地学習会(2)
開催日時	平成 19 年 10 月 11 日 (木) 9:10~16:05
視察場所	相模湖ダム、相模湖町貝沢、 企業庁相模川水系ダム管理事務所相模ダム管理所
出席者	天野望、木平勇吉、倉橋満知子、瀬戸孝夫、天内康夫、牧島信一、 真覚邦彦、吉村妙子、高橋二三代、石村黄仁、長谷川朝恵、柳川三郎 計 12 名
内 容	<p>1 9:10 企業庁相模川水系ダム管理事務所相模ダム管理所集合</p> <p>2 9:10~9:30 学習会の概要について ・説明者：土地水資源対策課職員</p> <p>3 9:30~10:30 水源の水質等について ・説明者：県企業庁、大気水質課職員</p> <p>【主な意見】</p> <p>Q エアレーションの方式として、間欠式、散気管式とあるようだが、性能の比較をしているか。</p> <p>A 各性能を比較して、設置している。</p> <p>Q 土壤汚染調査をやっているようだが、データは公表されているのか。</p> <p>A 問い合わせがあれば、回答している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>4 10:30~12:00 相模ダムの浚渫、エアレーションについて現地視察 <相模湖></p>



5 12:50～14:30 水源の森林づくりの取組について

<相模湖町貝沢>

・説明者：森林課、県北地域県政総合センター職員

【主な質問、意見】

Q 県産材が、末端の業者まで回ってこないと聞いているが。

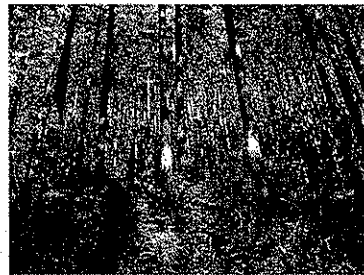
A 約3割は、買取業者が直接購入。千葉、山梨の業者が買っている。市場で、どのような材木のニーズがあるかという情報やどこにどのような材木があり、売り時はいつかといった情報の整備がされていないことが課題であると認識している。

Q 水源環境保全・再生施策を導入して、どのような変化があったか。

A 市場に材木が多く出回るようになり、導入してから初めて、売り上げが前年比180%アップした（檜だけであるが）。

Q 担い手不足について、どう考えているか。

A 現在、県内で従事している人は、300人程度であり、研修制度などにより工夫しているが、なかなか進んでいない。



6 15:00～16:00 生活排水対策等の取組について

<企業庁相模川水系ダム管理事務所相模ダム管理所>

・説明者：相模原市役所職員

【主な質問】

Q 山梨県山中湖村では、合併処理浄化槽の排水を湖に流さず、地中に埋めるトレンチ方式にしているので、そのような方式も是非検討してほしい。

A 整備手法については、地域特性や費用対効果など含め検討する。